

## 平成 26 年度 海外農学実習「ネパール農業実習」 募集要項

主催：信州大学農学部

下記のとおり、平成 26（2014）年度の海外農学実習「ネパール農業実習」の参加者を募集します。

### ■ プログラム概要

農学部在学中に身につけた専門知識と技術を海外（主に途上国）の現場において、どのように活かすことが出来るのか。いま世界でおこっている農業問題・食糧問題は、どのような農業環境と社会的構造のなかで生じているのか。その問題の本質は何なのか。本プログラムは、ネパールという農業生物多様性の宝庫でありながら、脆弱な食糧生産体制のもとに人々が暮らす「開発途上国」において実施します。約 2 週間の研修先での活動とその経験から、このような問いに対して、自身で考え、学ぶための機会を提供し、将来、国際協力分野で活躍するグローバル人材の育成を目指します。研修は、本学部と学術交流協定を結んでいるネパール農業省ネパール農業研究評議会の研究施設（首都カトマンズ標高 1350m）と標高 2650m のヒマラヤの麓の村マルファを中心におこまいます。計画されている研修先は、平成 25 年度信州大学グローバル人材育成事業を利用して今年 2 月に現地でも農業実習を行い、治安・衛生状況や宿泊環境に関する事前調査をすませるとともに、研修先からは受け入れおよび協力の確約を得ています。

### ■ プログラムの達成目標

本プログラムでは、プログラム名にある通り、「将来、農業および食糧をベースとした国際協力分野で活躍するグローバルな人材」を育成することを目的としています。自国とは異なる環境下で営まれている農業とそこから生まれる食文化を体験し、相手国の社会や異文化を理解することにより、視野の広い国際感覚豊かな人材の育成を目標とし、海外での研修経験を通じて、海外での活動、国際協力に対する意識付け、動機付けをおこないます。

### ■ 内容（予定）

- ネパール農業研究評議会における研修
  - ① ネパールの農業多様性と遺伝資源に関する講義
  - ② ネパール農業研究評議会研究所視察
  - ③ ネパールの農業開発およびビジョンに関する講義
  - ④ Agricultural Botany Division 研修（フィールドデータ測定等）
  - ⑤ 農家ホームステイ（一泊二日）
  - ⑥ 野菜市場調査
- マルファ村における研修
  - ① マルファ村農業の実態調査
  - ② マルファ村にある農業試験場の視察

■期間・スケジュール：2014年9月12日（金）～9月26日（金）

- 9月12日：南箕輪 → 中部国際空港（高速バス等）
- 9月13日：中部国際空港 → 香港 → カトマンズ（ネパール）
- 9月14～16日：カトマンズにて研修
- 9月17日：ポカラ移動（バス）途中タライ視察
- 9月18日：マルファ村へ移動（飛行機）、午後より研修（～19日）
- 9月21日：ポカラ移動（飛行機）
- 9月22日：ポカラ研修
- 9月23日：カトマンズへ移動（飛行機）
- 9月23・24日：カトマンズにて研修
- 9月25日：自由行動、深夜帰国：カトマンズ（ネパール）→ 香港（機中泊）
- 9月26日：香港 → 中部国際空港 → 南箕輪

■募集人数：10名

■単位：事前研修、ネパールでの実習、事後報告会を通して、学部共通科目「海外農学実習」2単位を取得することが出来ます。

■参加費用：250,000円程度

（内訳）往復航空運賃、現地交通費、現地宿泊費、ビザ申請費用など

- ・その他の個人負担
  - パスポート申請費用（申請は各自行ってください）
  - 予防接種費用（A型肝炎）
  - 信州大学が指定する海外旅行保険への加入費用
  - 国内空港までの往復交通費

■奨学金

本プログラムは、日本学生支援機構（JASSO）「平成26年度海外留学支援制度」の採択プログラムです。これにより、①前年度成績係数が2.3以上、②語学力は前年度もしくは直近の語学成績が2.3以上、③家計基準が奨学金受給対象の範囲内である参加者の一部は、奨学金受給対象者となります。

■研修後の義務について

研修中の調査結果等については、個人またはグループにてとりまとめ、レポートを提出してもらいます。また、帰国後、学内においてオープン形式での報告会を実施しますので、そこで発表もしてもらいます。

■キャンセルについて

原則として参加者決定後の参加キャンセルはできません。病気や事故により、やむを得ずキャンセルをする場合は、それに伴うキャンセル料すべてを、キャンセルした個人が負

担することになります。また、参加期間中に参加を希望する集中講義その他の行事がないことを確認してから申し込むようにしてください。

#### ■応募条件

- 国際農学Ⅰの受講を必須条件とする。  
※ほかの集中講義と重なって受講できない場合は、根本先生に相談すること。

#### ■応募と参加者の決定について

- 提出書類 : ①応募申請書 ②同意書 (\*保証人の署名・捺印要)  
③家計支持者の所得証明書 (市区町村発行)
- 提出先 : 農学部学務 G 担当: 中村宛
- 締切 : 5月23日(金) 17:00  
※また、応募申請書の電子ファイルをeメールでも学務担当へ送信  
担当中村 Email: nakamura\_akiko@gm.shinshu-u.ac.jp
- 選考 : 申請書の内容を審査して参加者を決定し、5月末日までにメールにて連絡します。(面接する場合もあります)

#### ■出発までのスケジュール

2014年5月23日(金) 応募締切

5月末日 参加者決定後、学務担当より応募者全員にメールにて連絡

6月中旬 第1回説明会(研修の概要、必要手続きの説明)以後複数回予定

#### ■引率教員

信州大学農学部 機能性食料開発学専攻

南 峰夫 (mminami@shinshu-u.ac.jp) , 根本 和洋 (knemoto@shinshu-u.ac.jp)

#### ■注意事項

- ただのネパール旅行ではありません。単に「ネパールに行ってみたくらいから」という学生は応募しないようにしてください。参加にあたっては、記載事項をよく読み、保護者、担当教員の同意を得て、同意書を提出してください。
- 

#### ■備考

- 応募時点でパスポートを持っていない人は、参加決定後の早い時期に諸手続きにパスポートが必要になるので、参加の可否に関わらずパスポートの取得手続きを進めてください。



お問い合わせ

(事務手続き) 信州大学農学部学務グローバルデスク 中村

電話 0265-77-1354 (内線 2275) FAX 0265-77-1313

[nakamura\\_akiko@gm.shinshu-u.ac.jp](mailto:nakamura_akiko@gm.shinshu-u.ac.jp)

(研修内容等) 信州大学農学部 機能性食料開発学専攻

根本 和洋 [knemoto@shinshu-u.ac.jp](mailto:knemoto@shinshu-u.ac.jp)